

<第4回 たきざわ自分ごと化会議 議事録>

1 開催日時

令和7年3月23（日）午前9時30分～午後0時30分

2 場所

滝沢市役所 大会議室

3 出席者

(1) メンバー

12人（別紙名簿のとおり）

(2) 講師

・ファシリテーター

（一社）構想日本 フェロー 柏崎亮太氏

（株）官民連携事業研究所 取締役 加藤勝氏

(3) 傍聴者

2人（別紙傍聴人受付簿のとおり）

(4) 事務局

たきざわ魅力発信室 室長 杉村英久

総括主査 福井聡 総括主査 木下智恵子

主査 角掛遥 主査 阿部大我

主任 森内涼平

4 流れ

(1) 開会

(2) 共有タイム（第3回まで振り返り・提案書（案）の共有）

たきざわ魅力発信室 主任 森内涼平

(3) ディスカッション①（提案書（案）の前半部分についての確認）

A班：（一社）構想日本 柏崎亮太氏

B班：（株）官民連携事業研究所 加藤勝氏

(4) 各グループの意見を全体共有

——— 休憩 ———

(5) ディスカッション②（提案書（案）の後半部分についての確認）

(6) 各グループの意見を全体共有

——— 休憩 ———

(7) 感想共有（車座で全体ワーク）

・たきざわ自分ごと化会議に参加してみてどうだった？（感想）

・まず、何からやってみる？（決意表明）

(8) 記念写真撮影

(9) 事務連絡及び閉会

5 概要

冒頭で、事務局からこれまでの3回を振り返りつつ、提案書（案）の内容について説明を行った。

ディスカッション①では、提案書（案）の前半部分（7ページまで）をグループワークで確認（加除修正は必要かなど）し、各グループで出た意見を共有する時間を設けた。

ディスカッション②では、提案書（案）の後半部分（8ページ～最後まで）をグループワークで確認（加除修正は必要かなど）し、各グループで出た意見を共有する時間を設けた。

提案書（案）の内容については、概ね良いとの意見が両グループからあった。一部追加が必要そうな意見については、別途提案書（案）へ反映する。

最後に休憩を挟み、会場のレイアウトを変更、ファシリテーターの柏崎氏を中心に車座で感想共有の時間とした。

内容は以下のとおり。

【たきざわ自分ごと化会議に参加してみてどうだった？（感想）】

- 皆さんの意見が十人十色で、いろんな意見を聞いて楽しかった。
- 滝沢市の人口と、抽出して選ばれた人数を見た時に、選ばれる確率が低いことが分かり、「当たったからやってみよう」と思い参加した。滝沢にも長く住んでいるわけではなく、市について良く知らない状態で参加した。しかし、皆さんの話を聞いて、市のやっていることなどいろんなことを知ることができ、「自分ごと」として、滝沢で暮らしていきたいなと思うことができた。参加してよかった。
- 参加するまでは、税金をこれだけ納めているのに、という気持ちが強かった。選ばれたから「言ってみよう」という気持ちで参加した。しかし、実際参加してみて、文句ばかりではなくて、滝沢市をどうしていきたいか、どうしたら良いまちになるか、魅力を発揮できるか、という気持ちで臨むことができた。提案書を市長に出すということで、その内容がしっかりと実現できるところまで見たいなと思っている。
- 自分も市に対して言いたいことが色々あって参加したが、タウンミーティングにも参加し、いろんな皆さんの話を聞きながら、自分も言うだけではなく、いろんなことに参加しなければということに気づいた。自分たちの住んでいるところなのだから、参加できる範囲で参加して、自分たちで良くしていくことも必要だという気持ちになった。
- これまでは、あまり滝沢は好きではないな、将来住みたいとは思わないなと思っていた。しかし、この場に参加したことで、周りの皆さんがすごく滝沢愛にあふれていたし、自分たちの住んでいる場所を自分たちで良くしていこうという考え方になれたので、滝沢に住むのもいいかな、滝沢でまちづくりしてみたいなという気持ちになった。
- いろんな世代の皆さんの意見を聞いて、滝沢が大好きなんだと感じ、うれしかった。どうしたら良くなっていくのか、若い皆さんがすごく真剣に考えてくれているのがうれしくて、参加して良かったなと思った。

- ・市が市民に対して真剣に考えて色々やってくれているんだというのを実感した。一方で負担もすごくあるんだと感じた。個人的にも、普通に生活していれば会えない、いろんな方とお話しできて、良かった。
- ・私たちの意見を集約して、「提案書」という形で提出できるのは、素晴らしいことだと思う。昨年くらいから、市全体が明るくなったというか、行政が市民の立場に立って前に進んでいるような気がしている。個人の、市民の意見を取り上げてくれる機会が多くなったと感じている。この会議に参加して、いろんな意見があるんだなど、参考にさせていただけることが多かった。市民の意見をもっともっと活かしていけたら、より楽しい滝沢になるのではないかと思う。
- ・次回は何を話そうかな、何ができるかなと考えるようになって、そうして毎日過ごしていると、いろんな新しいことに気付ける気がして、皆さんの意見がすごく参考になったと感じている。これが、市が良くなっていくことにつながるのであれば、すごくいいことだと思う。
- ・専門学校に通っていて、面接の糧になればなど参加した。最初は面倒さや会議が長いと感じることもあったが、回を重ねるごとに、こうしたら楽しいのでは、もっと盛り上がるのでは、という話が出てきて、もっと参加したいと思うようになった。雪がたくさん降った日に参加できず、もったいないことをしたと感じている。自分は何者でもないから企画を立案・運営することができないということではなくて、この会議に参加したからこそ、自分にしかできない企画もあるのかもしれないし、行政にとらわれずに自由にできることがあるんだと、参加して強く感じた。
- ・市に住んでまだ2年ほど。仙台で働いていたが、仕事を退職して滝沢に戻って来て、何をしようかなと考えていたが、まず何をしたらいいのか想像がつかなかった。そのタイミングでこの会議の案内が届き、参加してみようと思った。会議に参加してみて大きく変わったのは、広報紙をしっかりと見るようになった。今までは1ページ見て終わりという感じだったが、最初から最後まで見るようになった。また、今自分が何で困っているのか、そのために何をしたらいいのか、なんとなく分かってきた。
- ・この場に参加しているいろんな皆さんの話を聞いて、自分も発信していかなければと感じた。ごく近い人との会話をしながら、その人の考えなどを知っていくことも大事なんだなと思った。知らなかったこともいろいろと知ることができて、有意義な時間だった。

【まず、何かからやってみる？（決意表明）】

- ・さいごまでたのしくらしきる ・受け身はポイッ！！
- ・地元を夢を！ ・協力！！ ・滝沢市を更に愛す！！
- ・SNSでフォトエッセイの運営をしてみる！！
- ・地元を明るく楽しくする ・それも、じぶんごと
- ・興味を持つ 滝沢市に、地域のことに！！
- ・滝沢市を良くするために挑戦 ・行動する！
- ・めざせ滝沢市マスター！ たべてみる！行ってみる！伝える！

当日の様子

